

2026 筑波ロードレース選手権シリーズ

2026年 3月 11日

エンジンケース 2 次カバーの装着義務の猶予期間について

JP-SPORT クラス、CBR250RR・R Dreem Cup クラスは、エンジンケースを 2 次カバーで保護することが、今シーズンより義務化されました。しかし、規則対応パーツの供給が需要に追いついていない状況を鑑み、本規則は 2026 年 7 月 1 日からの施行といたします。

○JP-SPORT クラス対象規則について

※2026MFJ 国内競技規則「ロードレース」ブルテン No. 6 より一部引用

【対象規則】：7-3-13

【改訂内容】：規則施行の猶予期間の設定

「2026MFJ 国内競技規則 付則 11 JP-SPORT 技術仕様 7-3-15 クランクケース、エンジンカバー類」に定められた規則は 2026 年 7 月 1 日からの施行とし、2026 年 6 月 30 日までは「2025MFJ 国内競技規則付則 11 JP250 技術仕様 7-3-15 クランクケース、エンジンカバー類」を適用する。

2025MFJ 国内競技規則 付則 11 JP250 技術仕様 7-3-15 クランクケース、エンジンカバー類

転倒時に地面に接触する恐れのあるオイルを保持するすべてのエンジンケース、カバーは樹脂製 (FRP またはカーボン、ケブラー、プラスチック、ジュラコン等) の 2 次カバーによって保護されなければならない。

このすべての 2 次カバーは、厚さ 2mm 以上とし、強固な接着剤またはボルトにて適切かつ確実に固定されていなければならない。2 次カバーの接着性向上のための、必要最低限度のエンジンカバーの表面塗装の剥離は認められる。

ただし、フェアリングの延長により接触部がカバーされる場合は 2 次カバーの取り付けはしなくても良い。いずれの場合も、保護範囲はオリジナルのエンジンカバー (クラッチおよび ACG カバー部と転倒時接触する恐れがある突出部) の少なくとも 1/2 以上が保護されていなければならない。

○CBR250RR・R Dreem Cup

【対象規則】：7-3-13

【改訂内容】：JP-SPORT 規則同様に規則施行の猶予期間を設定

2026 年 CBR250RR・R Dreem Cup 技術仕様 7-3-13 は 2026 年 7 月 1 日からの施行とし、2026 年 6 月 30 日までは、2025 年 CBR250RR・R Dreem Cup 技術仕様 7-3-13 を適用する。

2025 年 CBR250RR・R Dreem Cup 技術仕様 7-3-13

エンジン 2 次カバー

転倒時に地面に接触する恐れのあるオイルを保持する全てのエンジンケース、カバーは樹脂製 (FRP、カーボン、ケブラー、プラスチック、ジュラコン等) の 2 次カバーによって保護されなければならない。ただし、フェアリングの延長により接触部がカバーされる場合は 2 次カバーの取り付けはなくても認められる。この全ての 2 次カバーは、強固な接着剤またはボルトにて適切かつ確実に固定されていなければならない。2 次カバーの厚さは 2mm 以上とする。

いずれの場合も保護範囲は、オリジナルのエンジンカバー (クラッチおよび ACG カバー部と転倒時接触する恐れがある突出部) の少なくとも 1/2 以上が保護されていなければならない。

以上